

さくらじま知的障害児者生活サポート協会

令和3年度事業報告書

【総括】

全国知的障害児者生活サポート協会は令和3年度現在、全国で45都道府県が加入し、加入者数も約149,000人を超えた。

当協会でも年度当初の継続加入会員4,380名（Aプラン2,430名、Bプラン1,817名、Cプラン133名）、新規加入会員176名（Aプラン45名、Bプラン89名、Cプラン42名）、解約者53名で年度末の会員数は4,503名となり順調に会員の拡大が図られた。

鹿児島県知的障害者福祉協会との共催事業については、新型コロナウイルス感染防止対策の為、一部中止とする事業もあったが、内容の変更やオンライン研修の導入により、概ね事業活動を実施することができた。実施事業については、研修会（6回開催・総参加者数約690名）、体育・文化事業（5回開催・総参加者数約748名）を実施した。

1. 会員数の推移と保険金の支払い状況

① 会員数の推移（資料①）

4月当初継続会員	4,380名
新規加入会員	176名
解約者	53名
年度末会員数	4,503名

② 保険金の支払い状況（資料①）

総支払額 37,134,739円（1,900件）

2. 会議の実施状況（資料②）

評議員会は中止し書面評決、理事会を別紙のとおり開催した。また、九州地区ブロック会議、全国サポート協会理事会はオンラインで行われ適宜出席した。

3. 共催事業報告（資料③）

鹿児島県知的障害者福祉協会との共催事業についても別紙のとおり、研修会（6回開催・総参加者数約690名）、体育・文化事業（5回開催・総参加者数約748名）を実施した。